


一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30年 8月 28日	受理者印
午前 午後	3時 25分 受理 

議会名	平成 30年 第 3回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 14番	氏名	田所良夫
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 観光立市について (1) 第24回全国山城サミット in佐野のレガシーについて	<p>①平成30年2月議会の一般質問の答弁では、山城サミットを一過性のものとせず、今後の年間を通じた誘客となる方策について、関係機関や団体と協議しながら検討してまいりたいとのことですが、その後の進捗状況と今後の見通しをお聞かせください。</p> <p>②唐沢山城の歴史ポイントはいくつありますか。</p> <p>③唐沢山城の歴史ポイントをチェックポイントとして、戦国唐沢山城ロゲイニングを提案しますが、当局の見解をお伺いします。</p> <p>④唐沢山城と『クリケットタウン佐野創造プロジェクト』をコラボレーションさせてのロゲイニングの研究検討をしてみたいかがですか、当局の見解をお伺いします。</p> <p>⑤山城サミットの記念切手の発行数量と販売状況はどのようなものでしたか。</p> <p>⑥山城サミットの記念切手の発行意義と成果についてどのような見解をお持ちでしょうか。</p>		

(2) 観光資源の周知・活用と
今後の展望について



- ① 6月23日に佐野日本大学短期大学主催の佐野学『知られざる佐野ゆかりの偉人』天徳寺宝術についての市民講座が開催され、約350人の聴講者が集い会場満席に近い状況で行われました。山城サミットのレガシーとしてさらにこの郷土の歴史を市民に周知すべきと考えますが、当局の見解をお伺いします。
- ② 山形町にある報恩寺に天徳寺宝術を称える顕彰碑がありますが、観光立市、産業・文化立市を掲げる本市の立場からもその存在価値や存在意義、更にはその内容を広く市内外に周知すべきと考えますが、当局の見解をお伺いします。
- ③ 知られざる佐野ゆかりの偉人とも紹介されている天徳寺宝術は郷土歴史の再発見や再認識につながり、今後後世にも正しく伝えていくべきものと考えますが、小中学校における教育現場ではどのように考えておられますか。
- ④ 市民講座で新しく発掘された観光資源素材を今後どのように整備（史跡の看板、顕彰碑の解説文、当時をイメージできるようなイラストを設置する等）を行い、どのように観光誘客につなげるのかお伺いします。
- ⑤ 本市には町会お宝自慢等もあり、名所旧跡については沢山のものがあると思いますが、誘客につなげる観光資源としての観点からはどのように認識していますか。
- ⑥ 観光資源を活用し、観光とスポーツを融合させたロゲイニングの研究検討をしてお伺いしますか、当局の見解をお伺いします。
- ⑦ 平成30年2月議会の一般質問の答弁では、天徳寺宝術の史実や人生そのものは、大変興味深くドラマに満ちたことから、世間にもっと知られるべきものと考えており観光素材の磨き上げといった観点からも、今後は天徳寺宝術の認知度を高めるとともに、大河ドラマ等の誘致も含め、周知活動を検討してまいりたいと考えております。とのことでしたが、その後の進捗状況についてお伺いします。